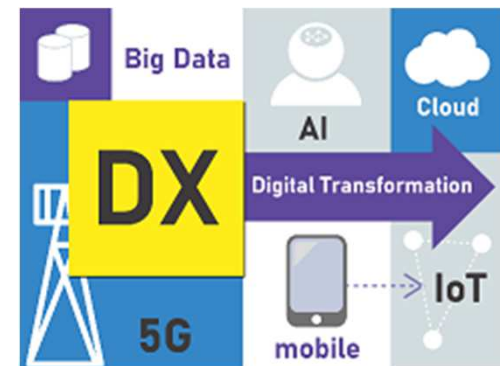


ICタグを活用したコンクリート品質証明

NETIS登録番号 TH-170007-VE

【活用促進技術】

- 信憑性の確保
- 材令管理
- トレーサビリティ確保



【期待される効果】

- NETIS活用促進技術の採用による工事成績の優位性の確保
- 審査項目評価対象の履行内容の特化
- 本社支援による支援体制の強化
- 建設業における女性活躍の推進
 - 帳票記録作成作業の省力化、負担軽減
 - 品質記録員の品質証明に関わる体制の強化
 - 遠隔地から女性職員の現場参画

【本社支援体制運用】

本社

本社PCにソフトをインストール



本社PCに接続



現場

ハンディリーダライタ



Wi-Fiアクセスポイント
(テザリング)



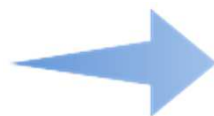
コンクリート配合計画書
関係書類
(本社担当者へ提出)



運用開始手順 1.データ入力

本社

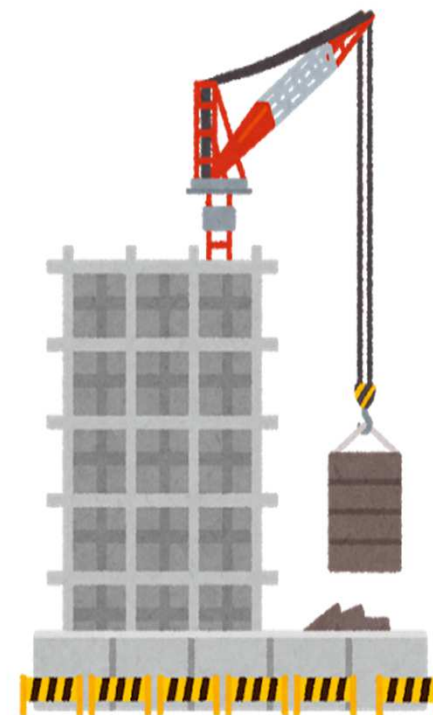
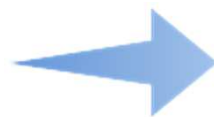
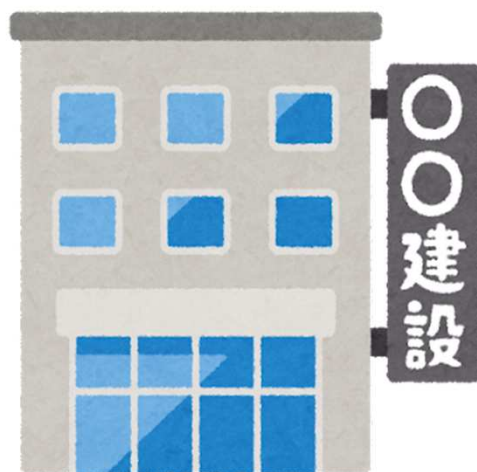
1. ICタグ 発注
2. 工事登録(本社PC)
3. 配合データ入力
4. ICタグへの書き込み



運用開始手順 2.ICタグ(入力済)

本社

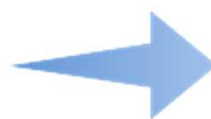
現場



運用開始手順 3.現場作業

現場

1. 書き込み内容の確認(ハンディリーダーライター)
2. 打設材令を書込
3. 供試体へ投入(表面3cm以内)
4. **読取確認**



運用開始手順 4.圧縮強度試験時の作業

現場

1. 読み取り
2. 材令の確認(7日.28日など)
3. 写真撮影
4. 試験データの入力
5. データ転送



運用開始手順 5. 確認作業(データ転送後)

本社

1. 転送データの確認
2. 圧縮試験成績書と照合
3. データ転送(WEB)
4. 帳票作成(Excelデータ・PDF出力)
5. データ転送

現場代理人
発注者

品質記録の確認
(月報・日報)

